



題字：伊藤博文

発行所 修徳自治連合会
 編集責任者 藤原 貴
 編集責任者 小西 宏之
 印刷所 (有) 京美プリント

震度六の地震発生

防災訓練

8月にトルコ北西部大地震、9月には日本に近い台湾大地震である。世界の活断層が活動期に入ったのか。大震災の死亡原因の大部分が古い家屋での圧死という。修徳学区は古い家屋が多く、被害集中の想定が現実になり得る。

想定

修徳学区に被害が集中

震源地は京都府南部

高度な模擬訓練を採用

平成十一年度修徳学区自主防災会の総合防災訓練は、九月十九日午前九時三十分京都府南部に震度六の地震が発生し、修徳学区に被害が集中しているという想定で始まる。本年度も成徳中学校グラウンドに災害対策本部を設置する。本館前で、篠原会長が平井副会長に、平井副会長が各ブロック長への伝達を指示している。各ブロック長から所属町内会防災部長への指示は地震の想定内容以外に『各町内会は被害状況を把握し、情報班が災害本部へ緊急報告を行なう。個人の非常持ち出しもの



はじめに煙中訓練

各町での初動措置訓練が終わると、学区民は町旗を先頭にぞくぞくと避難場所へ避難する。『避難場所へ避難する。』である。各ブロック長の集計する情報は、各町の被害状況に応じて、重点的に救援を行なうために欠かせないものである。

救出訓練

通行人「大変や！家が壊れてるやんか。誰かおるのか？おつたら返事してくれ。」
 通行人「みんな、助けて倒壊家屋の隙間にバ



「救出班！器材準備はじめ！」
 「救出班！よし！ジャック用意！」
 「内部確認！」
 「倒壊家屋の隙間にバ

消火訓練

救出班「火事や！班長奥のほうから煙が……炎もあがってます。」
 救出班「火災を発見した救出班員が消火班リーダーに火災発見を報告する。」
 消火班「第一、第二ブロック担当」がリーダーを先頭に、現場へ駆けつける。
 消火班リーダー「倒壊家屋内に火災発生！消火バケツによる消火は

給食訓練に参加して

災害時に学区民の命を支えるという、修徳自主防災訓練のなかの大切な一部、給食配布訓練として、女性会はおにぎりの配給訓練を行いました。朝八時に仮設会議室に入ると、会長はじめ役員の方がたはもう机を出して、道具は並べられ、部屋全体や机などを薬用アルコールで消毒されていました。いままで経験した大地震では、避難所などが、水不足で不潔にな

り、感染症などが心配されてきました。きつと、そういうことも頭に入れてやってみようという感じがしました。炊飯器からは湯気が上がり、嵐の前の静けさといった感じでした。『これから始めます』の合図とともに、ここで炊き上がったご飯と、家から持ち込まれたご飯合わせて一斗四升はつきつぎとおにぎりに変わり、その数はなんと四百個で

す。私たちのブロックはご飯一升ずつを二十八個に等分するひと、梅を中に入れてにぎると、海苔を巻いて仕上げるひとと分担しました。昨年の経験も生かされて十個ずつのお弁当を紙袋へと入れました。この作業のお陰で、各町へ手渡すとき混乱もなくスムーズにできました。私は、初めて防災訓練のお手伝いをさせていただったので、いろいろな状況を予想しながら準備する訓練の大切さを学ばせていただきました。
 (女性会 夏原)

女性会

避難所の清潔保持を視野に



第一、第二ブロックは消防救急隊の指導で応急処置訓練である。三角巾を使って傷口の血を止める。骨折の腕を吊る。第

修徳小跡地発掘調査終わる



元修徳小跡地の埋蔵文化財発掘調査が終了し、九月二十五日最終見学会があった。目新しいものは、須恵器や、土師器、古墳時代前期の地層から北 貴族の東より 深緑色の 石製帯鋳など、古横切り、幅は成徳中学校あたりまでという川跡であった。とくに今回珍しく、戦国時代の三十才位の (大堀町 松本泰彦)

自主防災のつどい

お買い上げラッキー！抽選券六百四十枚の抽選を楽しむ。

消防団員任命式



吉水俊成 玉虫照代
 初めの女性団員をどう活かすか。団長もきつと、考え中(?)です。今後とも、学区の皆様のご指導をお願い申し上げます。

消防団入団の「思い」

十一月の「秋の火災予防運動」の期間には、消防士長と二人で、ひとり住まいの高齢者宅の訪問を予定しています。



玉虫さん入団の修徳消防分団 防災訓練で放水訓練の勇姿

阪神大震災で八万二千棟を超す古い木造家屋が全壊。死者の大部分がその倒壊による圧死。

心も体もコミュニケーション

修徳学区民運動会

走った 投げ入れた 運んだ

最近、地域では、コミュニティの「ふれあい」の観点から、誰もが参加できる体育やスポーツの種目を模索しようという動きが主流になってきている。学区民運動会は、ふれあいの場というより、ふれあい「コミュニケーション」そのものである。今年も多く学区民が参加して、走り、運び、投げ入れ、体を動かし、ふれあいを果たした。

前夜の雷雨は、主催者だけでなく、多くの学区民を心配させた。役員一同も、ちよつとおおげさに言ってみれば「不運転」の決意で臨み、霧雨の残



よし！えらく調子がよい
ひよつとすると優勝できる！

女性会 美味しそうな匂い！

大繁盛の模擬店

前日はとてもよいお天気でしたが、夜中から、雷は鳴るは大雨は降るはで、このところ当たってない気象情報の『明日は午後から晴れる』という予想に、祈るようになっていました。女性会は食べ物を中心とした模擬店を開きますので、中止などという大変です。さぞかし、中村会長の心配はひとしおであったと

お察しします。でも、お陰様で、無事運動会が始められる天候に恵まれました。模擬店の机の上には、「赤飯」「お寿司」「おはき」「みたらし」「ジュース」と賑やかに並べられました。女性会の町委員の方がたが食券をたくさん売っていただいたお陰です。運動会が始まると同時に、「みたらしだんご」

を焼く美味しそうな匂いに、ほほえましい雰囲気。模擬店の出陣でした。当日の食券の売れ行きも上々でした。とくに「みたらし」は、つきたてのおだんごなので、とても好評で人の列ができるほどでした。いつもは会う機会のない人びとの懐かしい出会い、語り合い、どんなにか心がなごみ、ふれあいの場ができ、有意義な女性会模擬店の一日でした。



この提灯にだけ風が吹くわけないね
このたま落ち着いてくれないなあ!!

深草 中野之

二競技で勝つ

今年も、優勝を誇る大江町を、どれだけの競技で各町が阻止しているかに興味が集まった。結果は別表のように、午後一番の玉入れ競技に深草町が快勝した。さらに、壮年風船競走で、中野之町が勝ち、二つの競



この風船割れない?

個人 ラッキー賞

大江深草月見で五割近い個人ラッキー賞の当選者は合計五十個のうち、大江の九、深草の七、月見の七、幸運の三町で二十三と、四十六パーセントを占めた。後はくつと下がつて四が御供石、三が

女性会 いつでもどこでも体操を

七月二十七日(火)午後一時三十分より、元修徳小仮設会議室で、健康体操教室を開催し、四十名の参加をいただきました。平井副会長の司会、中村会長のあいさつで始まりました。つぎに、下京保健所保健師藤田美幸先生から骨粗鬆症予防についてお話をいただきました。高齢者だけの問題ではなく、骨粗鬆症にならないためには、若い頃から骨の貯金を減らさないことが大切です。まず、運動のできる二十才代、三十才代は筋肉を使う、レーニング、

健康体操教室

四十才代以上は体操と散歩、朝二十分くらい八千歩から一万歩を歩くとよい。食事に気を付ける。日本食の量を増やす。ビタミンB、ビタミンD、小魚や野菜、牛乳、チーズ、海苔、大根おろしなどがよい。つぎは、いつでもどこでも誰とでもできるやさしい体操を教えました。心も体も健康になりました。本副会長のあいさつで閉会しました。

平成11年	1	2	3	4
修徳学区民運動会	深草	大江	下屋	吉水俊成
団体競技成績	中野	深草	玉屋	材木
	大江	御供	江見	小田
	大江	材木	原屋	深井
	大江	御供	原屋	草天
	大江	御供	原屋	草天

米寿のお祝い

修徳学区では、六名の方がたに、敬老の日を前に市民生局より敬老記念品の贈呈がありました。皆様方には、いろいろな出来事が走馬灯のように思い出されること存じます。なかでも、戦時中や戦後のご心労はいかばかりであったかと、お察し申し上げます。米寿をお迎えになった皆様は、二十一世紀を迎えようとしているこの平和な現在を、交通戦争だけに充分にご留意のうえ、健康で楽しく幸せ多い生活を末末までお過ごしください。おめでとうございます。

おめでとうございます

- 九月五日 京都市自治百周年事業 推進協力感謝状授与 修徳学区自主防災会 九月十二日 優良補助委員金賞 小林 敬功(深草) 北川 親枝(御供石) 優良補助委員銀賞 森 芳子(御供石) 青木 富子(元両替) 黒田 寛(敷下) 優良補助委員銅賞 中村 裕(高砂) 酒井 悦子(御供石)
- 九月二十一日 全国交通安全運動 近畿管区警察局長 近畿交通安全賞 松本 泰彦(大堀) 十月三日 下京区長体振功績表彰 下京区体振連合会会長賞 西山 正夫(中野之) 高橋 俊次(大堀) 十月十五日 京都市自治百周年事業 推進協力感謝状授与 平井 常夫(高砂)
- 十月十五日 京都市自治百周年事業 市長感謝状授与 修徳学区市政協力委員 連絡協議会 十月二十三日 京都市自治記念 十年以上在籍貢献 篠原 實(月見) 浅野 三朗(材木) 中村 弘一(亀屋) 十一月二日 平成十一年度保健協議会 役員勤続二十五年 功労者表彰 川上 和子(敷下)

表彰 受賞者のお知らせ

十月十五日 京都市自治百周年事業 市長感謝状授与 修徳学区市政協力委員 連絡協議会



総務庁の統計によると、自動車は一九九六年で、すでに日本だけで八千五百万台を超えている。とくに、道を『生活の庭』感覚で捉えている高齢者や六才以下の子どもたちにとっては、危険にさらされているというだけでなく、地域のなかでひととのコミュニケーションがでない環境が作りだされてきている。まちづくりの時代にこそ、弱者の目線で交通や車を見直して見る必要がある。

弱者の目線で交通をみる

交対協の交通安全教室

9・15

九月十五日(敬老の日)に交通対策協議会、修徳社会福祉協議会の主催、修和会の協力で『修徳シニア(高齢者)交通安全教室』が元修徳小仮会議室で開催された。講師として五条警察署婦人交通巡回員の潮田秀子指導主任さんと中島可奈子さんをお迎えした。高齢者の交通に対する関心の強さを示すように、五十八人の出席をみた。

島さんが腹話術の人形「ケンちゃん」(六才)を抱いて登場する。ケンちゃん 五条通は「横断禁止区域」です。横断歩道以外は横断してはいけませんよ。

潮田さんは、三つの事例をあげる。

交差点や横断歩道の手前は、死角になる

(一)七十五才の男性高齢者が五条堀川の歩道橋の五メートル手前を横断した。脳見運転の市バス

(二)生祥児童公園の北側の路側帯を、富小路へ向かっていた男性高齢者が、向かい側の店の看板を見て突然道路を渡り始めた。そこに女性の乗った自転車が当たった。思いつくまま動く高齢者には、とくに注意を要する。

修和会 秋の気配なく中国路

湯原温泉にて憩い

修和会の旅行を何年ぶりかで復活、九月二十七日二十八日湯原温泉一泊に行つた。

長い間くすついていた空も当日はこれ以上はない快晴。ひた走る名神中国高速、どこまでも青い空。佐用から下りて南下。御津町で昼食の後マスカット狩へ。

秋の味覚に堪能しながら無数に下る房を換算したりしてバスは北上。沿道の家々の瓦が黒々と艶のある光沢にさすがに前焼の地元!と感心しながら中国山地の懐深く

神庭の滝へ分け入る車窓にまだ秋の気配はない。神庭の滝では猿の糞に気がつけながら滝の直下まで。18号台風の置土産が水量豊かに落下するしぶきを浴びながら渓谷に心も溶ける楽しさ。

秋はまだ砂丘に汗の落ちるままひと汗かいたあと記念写真。鳥取で梨狩をして三三三号線を佐用へ。途中武蔵の大原町では「新免」の看板も見受けて



納得。帰路も佐用から中国高速。予定より四十分ほど早く八条口に着き、それぞれの無事を喜び合って解散。とても美しい茜空を見上げながら。(弁財天町 都倉)

バスは折返して湯原へ到着。直ちにダム下の露天風呂へ行く人、館内の大浴場で疲れをほぐす人。宴会で和やかな湯の宿の雰囲気を楽しんで就寝。翌朝は一面の霧。目の下の橋も向いの稜線も南

ていねいところがそのしろから自家用車を運転していた五十二才の男性会社員は、早く家に帰りたいと思っていたので、イライラしていた。

前の車が止まれば「何かある」の意識

(三)事故は、生活道路と四車線の大通りの交差点で起こった。

信号も横断歩道も大通りの真ん中の分離帯もない。七十二才の女性高齢者はいつもここを横断していた。この日も風呂帰りに渡り始めた。十一月の午後七時頃はまだ暗い。先頭の車は気配を感じたのか、速度を落とすとして走

前の車が止まったので、追い越し車線へ出て加速し、前の車に止まってもらって

交対協告知板

□九月二十一日 平成十一年交通安全府民のつどい(ば・る・るプラザ京都)

□九月二十六日 高齢者ドライバー対象の交通安全講習会(成徳中) 府警のシミュレーター(模擬運転装置)を積んだ交通安全教育車で、各自の運転の再確認をした。修徳から六名の参加があった。

□十月一日 下京区交通対策推進連絡協議会の行事 烏丸五条上るで、シートベルト着用推進街頭啓発を行なった。着用率は八十五パーセントであった。(福井)



進み出した女性高齢者を死亡させてしまった。運転注意メモ 時速四〇キロの衝撃さえ、二階の屋根から落ちたのと同じ!

そ、日は梅雨空に似合う紫陽花の花を、バスの中から眺めながらの京都府事務所訪問でした。まず、収容者が作業場で作業中なので、部屋を廊下から見せていただきました。とても整理整頓が正しくて、その分、厳しさを物語っています。そして、職員の方には、時には、夜も寝ず実践指導に当たっておられる方もいらつしやうと聞いて、胸がじんときましました。

受刑者の社会復帰に理解を

更生保護の日第四十九回「社会を明るくする運動」街頭啓発月間の初日、市役所からパレードを行ない、四条河原町では京都府知事、法務省関係機関の方がたを迎え、修徳から篠原会長はじめ五名が参加して、総勢百余名で団扇、リボンエード、PRリーフレットの啓発

つようにと、学科教育のなかに「通信」「簿記」「電気工事」「書道」「調理師」など、いろいろの通信教育がカリキュラムに組み込まれていて、検定試験も受けられるようになってくるそうです。この間ブルドーザーの試験に、六カ月で免許を取った青年が二、三名いたのにはびっくりされ、高校教育をもっと体を張って見直さねばと、教育者のなかで真剣に討議されているとのことでした。

所長様は最後に、やがて社会復帰する受刑者たちのなかで、「今度こそは真面目に」と決意しているひとたちのために、社会の皆様のご理解をいただきたいとおっしゃっていました。

このような見学をさせていただいた後は、その方がたのご家族の気持ちを考えての、胸重く痛みました。

更生保護の日第四十九回「社会を明るくする運動」街頭啓発月間の初日、市役所からパレードを行ない、四条河原町では京都府知事、法務省関係機関の方がたを迎え、修徳から篠原会長はじめ五名が参加して、総勢百余名で団扇、リボンエード、PRリーフレットの啓発

この研究討議が、今後の更帰活動の糧となり、実を結ぶことに望みを託して、会場をあとにしました。

愛のチャリティコンサート

更帰連盟主催、第八回愛のチャリティコンサートが、テルサホールで開催され、会場は満員の盛況で、修徳は六名が参加しました。今回は伊吹吾郎氏、康太郎氏父子によるトークショーで、テレビの裏話や伊吹親子の知られざる「ひととなり」など興味深く聴きました。さらに、親子によるギター演奏あり、歌あり、ドラマ水戸黄門の印籠をもった角さんの「極め台詞」の披露もあり、リッチなコンサートでした。収益金は連盟より矯正保護、更生事業施設へ贈られます。(柿本富美恵)

総合福祉施設への要望

布屋町 中谷 隆亮

いよ来年四月、介護保険が実施されます。より充実したものにするため、この施設の内容・運営がよりよいものになるよう希望します。

① 施設の工事にあたりは、設置主体の京都府の責任で、周辺の町内会などへの了解をえられるよう努力を要望します。

② この施設は周辺部でなく市の中心部にすくられま

すので、家族・友人が気楽に訪問できるように

団らんの場所を用意していただきたい。また、児童館など併設されるので、利用する高齢者と子どもたちが交流できるように配慮をお願いします。

③ 施設の運営について三点を要望します。

① 周辺の高齢者で、ひとり暮らし、あるいは夫婦のみの世帯が、配食サービスを利用したり、希望すれば食堂も利用できるよう、厨房や職員の配置がすすむものと思

五条少補

多彩なイベントに歓声

ゲームとフリーマーケット

少年補導委員会は八月の夏休み最後の日曜日、少しでも子供たちのよい思い出になると同時に、母親クラブのお母さん方や地域の方がたとのふれあいになればと、仮設会議室と消防分団の器具庫をお借りして『サマーナイト子どもゲーム大会とフリーマーケット』を行ないました。五時からの開催に、男子支部役員が汗だくで用意した焼そばも順次出来上がり、各町内のフリーマーケットも



一ブーのスペースが狭かったにもかかわらず、いろいろな工夫され、きれいに商品が並びました。子供服あり、大人の衣料品、本、日用品その他いろいろと個性的に並んでいました。

子供たちもゲームをして景品を当てたり、マジックパルーンで動物を作ったりして歓声があがっていました。二百五十食分用意した焼そばもすっかりなくなりました。

てしまいました。思いがけず、たいへん多くの方がたにお越しいただき、支部役員一同たいへんうれしい気持ちにさせていただきました。ご参加いただきました皆様とご協力いただいた消防分団員の方がたに、ここからお礼申し上げます。(酒井)

宝探した美味しかった

宝島でバイキング

九月五日、五条少年補導委員会学生部の主催で『親子のつどい』が、北区衣笠の鏡石学舎で行なわれしました。総勢百五十名の参加があり、修徳支部では二十名の参加がありました。産業会館前から貸切バスで出発。鏡石では、飯ごう炊さんのほか別荘に分かれて、煮込みハンバーグ、焼きそば、豚汁、サラダ、フルーツポンチを作り、バイキング式で食事。どの料理もおいしくて、子供も大人も大満足。その後、宝探しやゲームなどで、とても楽しく過ごしました。学生部のみなさん、ご苦労さまでした。(学生担当 勝見)



修徳献血友の会組織表彰される

十一月二日京都府会館で二十五年表彰を受けた。

「舞いの家」を観て

初めての観劇会

布屋町

一段と秋らしくなってきた今日此頃、今回は芝居見物ということに……。今時そんな優雅なと思われぬのが、今年の布屋町町内会のレクリエーション行事で、初めての観劇です。

十月二十四日の昼前、町内の男女が揃って、期待を乗せて楽しみに南座へ。橋と看板を見上げて昔ながらの佇まい。前には

大勢の人々、やはり女性が多い。今日の出し物は立原正秋の「舞いの家」。主演は山本陽子さん。世間と家と芸のはさまで苦悩する能楽の元夫婦を中心に物語は進みます。



舞いの家

テレビや映画では味わえない絵巻物のような舞台と艶やかな衣装、それが幕毎に替わる生の迫力に思わず引き込まれてしまいました。

愛と恋、不倫自殺と、ドラマティックな展開に、人生の縮図男と女の悲哀と生き様を垣間見た思いで、芝居の素晴らしさを堪能できました。

幕間にはもう一つの楽しみ「幕の内弁当」その呼び名の由来も一緒においしくいただきました。やがて終幕となり余韻が残るまま外に出ると、秋の日差しを浴びた鴨川と続く北山がクッキリ。

瀬戸の海橋初秋に悠悠

中野之町

中野之町なる旅行会。亀山藩亀山稲荷に由来する亀山会。九月二十五二十六日、土佐は高知へ二日の旅。昨年台風襲来延期で、本年二月は信州笹戸温泉行。今年度またもや大型台風襲来、やきもきす。一泊旅行一万八千八百円、安いツアーに便乗す。バスは行く行く岡山児島、瀬戸大橋を眺望し、栄螺と穴子に舌鼓。尾道・因島・しまなみ海道。瀬戸の花嫁、村上水

軍、一気に走る激流難所。瀬戸の松嶋なこの橋を今治へ。伊予のじゃこ天口にして、一歩まき目も振らず、土佐高知。播磨屋橋で坊さんが、一つ買っを見た。夜更け酒買い賑やかに焼酒飲むか酒飲むか、藤原のり香か今日も飲も。秋の青空、朝の風呂。猫多し西国札所は竹林寺。野市町まで、おーい龍馬くん、土佐英雄記念館。乙女育てし海援隊。土佐の港は広おすえ

時代祭報告書が完成する

昨年の時代祭「徳川城使上洛列」を演出した修徳学区の参加者全員の写真と、準備各行事の貴重な手順の経過記録とを掲載した「報告書」がこのほど完成し、学区民や関係先に配布された。これは時代祭実行委員長近森佐太郎氏を中心に同副委員長平井常夫氏本橋三郎氏、同経理部副会長桜井正氏らのご尽力による。



思い出されし春秋の橋。京都到着打上酒も、身に浸みし中野之町の集いの会。(近森佐太郎)

人事往来

Table with columns for birth (誕生), transfer in (転入), transfer out (転出), and reports (計報). Includes names like 岸本和則, 木下惺, 丸井太郎, etc.

多田啓子

敬老祝品 「花よりだんご」に 満七十才以上の高齢者の方がたへの、九月十五日の「敬老祝」の配布も今年で十二回を数えます。今後とも継続事業として予定しております。

感じる日々... 私は幸い田舎で生まれて、米、野菜はもろもろ出している。彼岸の墓参りに帰った時も、甘長とうがらし、ピーマン、柿、栗、いちじく、トマト、なす、さじく、柚子も豊つま芋等カバン一杯も富に取れ、農協にらつてきた。鮮やかな出荷していた。学費と柔らかさ、そして校から帰れば、田舎みずみずさがたまらや山に出かけ、父、なく嬉しい。大きな母の手伝いをさせ、大きな買物をしたようられた。中学生に、満足感を味わった。

もう耳にタコでもうた憶に兆... 餘の餅が今日もポストに送券前... ジパンゲもカタがまもったマルコ・ポーロ殿... 預金証書 練書の重みなくなった... 一つや二つゲリラもいそいな千羽鶴... 弁財天町 都倉昭蔵

夢の半径、広がるね。 Chushin 五条支店. Advertisement for Chushin newspaper with a cartoon illustration of a child.

この際、ご意見やご希望を遠慮なくお聞かせいただきますようお願いいたします。(社会福祉協議会)

編集後記

二十一年紀は心の時代と言います。この心はそれぞれの地域に住むひとの心で、地方の時代でもある。言う所以である。地域のひとたちの支持がない企業に発展はない。主な企業は気がついて、先駆的に行動に移している。個人も自分の住む地域のひとたちの気持ちや健康に最大限の配慮をし、自分たちの生活をどう変え、『まち』をどうつくりたいか。『広報紙』の役割はその話合いの材料の提供である。紙幅の関係で『まちづくり』特集は延期する。